

財団通信

発行所
〒832-0814
福岡県柳川市三橋町垂見18-2
公益財団法人 生涯学習振興財団
TEL 0944-72-5452
FAX 0944-72-1803
発行人 理事長：沖永佳史
編集人 事務局長：井上正明

テーマ

「今こそ大志を語れ」



公益財団法人 生涯学習振興財団
理事長 沖永佳史

おかげさまで、私ども公益財団法人生涯学習振興財団主催の「高校生小論文コンクール」は、今回で19回目を迎えます。

今日に至るまで、本コンクールを支えていただいた皆様に感謝申し上げますと共に、今後も「今こそ大志を語れ」というテーマを大切に、先代理事長・故沖永荘一の意思を堅持してまいりたいと思います。

さて今回の特徴的な作品の印象として、個人部門では、主張する力のある作品が多く、粒ぞろい、大きな夢から身近な夢までを熱く綴った多彩な作品が寄せられました。またグループ部門では、応募作品のテーマもバラエティに富

み、ともすればレポートに陥りやすいグループワークをそれぞれのテーマに沿ってみごとに小論文としてまとめ上げられていました。

高校生という情熱や夢を抱く多感な時期に、自分を振り返りつつ、未来を見つめる作業を文字に託すことは大切な青春の節目づくりになると確信しております。そのことが本コンクールの大きな意義の一つでもあります。

高校生諸君が未来において、今の大志を貫くのは素晴らしいことです。しかし長い人生、未来でまた別の新たな希望や大志を見つけた時には、その夢に向かって人生の航路を切り替えてもいいと私は考えます。その時点において自分なりの大志が語れるということが大切なのです。

最後になりましたが、本コンクールをあらゆる形で応援していただく方々に心からお礼を申し上げます。

第19回高校生小論文コンクール

「今こそ大志を語れ」をテーマにした高校生小論文コンクールでは、個人部門とグループ部門で、自分の未来や人生の夢、目標という身近なことから、福祉、教育問題、環境問題などの社会的な提言に至るまで、ジャンルを問わず、文章で綴る作品を募集しました。結果は左記の通りです。

沖永荘一博士記念大賞（フロンティア賞）



個人部門

沖永荘一博士記念大賞（最優秀賞）

「諦めないで努力すること」

福岡県立大川樟風高等学校（定時制）1年

中釜賢登さん

優秀賞

「医師になるために」

山口県立徳山高等学校2年

福岡 萌希さん

グループ部門

優秀賞

「日本の医療費における問題」

学校法人久留米信愛女学院
久留米信愛女学院高等学校1年

岩永 彩香さん
堀川 早耶さん

優秀賞

「海洋「ミ」についての考察」

学校法人永島学園
出雲西高等学校2年

山田 実果さん 影山 雨音さん
鳥屋尾格貴さん 村本 菜摘さん
齋藤 耀さん

学校部門

優秀学校賞

大変な熱意を持って継続的に参加された学校と、本年新たにチャレンジされた学校。

- ◎ 学校法人筑紫女学園 筑紫女学園高等学校
- ◎ 広島県立広島高等学校

「万人をこえる応募から」

このたび財団主催の高校生小論文コンクール審査結果が発表された。この小論文コンクールは、基本テーマを「今こそ大志を語れ」として、沖永荘一前理事長の提唱である、「一人でも多くの現役高校生に、それぞれの夢を語っていただく」という趣旨ではじめられ、この度19回を迎えた。

コンクールは、個人部門とグループ部門に分けられ、自分の未来や人生の夢、目標という身近なことから、福祉、教育問題、環境問題等の社会的提言に至るまでジャンルを問わず、文章で綴る作品を募集している。

募集は10月末日に締め切られ、全国から1万人をこえる応募をいただいた。審査の結果は上記のとおりです。

審査は、11月に予備選考審査を経た後、最終審査は12月2日に柳川市の生涯学習会館で行われ、今谷明帝京大学文学部教授を委員長に、洲上雄幸福岡県青少年科学館元館長、海老井悦子福岡県前副知事、森山良一福岡県教育委員会元教育長、大久保佳史福岡県教育庁教育振興部高校教育課指導主事、佐田弘美読売新聞西部本社生活文化部長の各委員の活発な討議のもとで行われ、各賞受賞者が選ばれた。

表彰は1月28日(日)に福岡市のANAクラウンプラザホテル福岡で、沖永佳史理事長から受賞者に直接授与される。

第19回高校生小論コンクール受賞者

優良賞

〈個人部門〉

小平真裕

国立大学法人

東京工業大学附属科学技術高等学校 2年

「国際社会における私の将来の役割」

松浦華音

学校法人関西学院関西学院高等部 3年

「『誰かと』 食事をする事」

米村颯馬

福岡県立筑紫丘高等学校 1年

「私の人生の目標」

古賀航平

福岡県立八女農業高等学校 2年

「新たな直売所」

釘田桃華

宮崎県立宮崎西高等学校 1年

「エンドロール」

水流舞香

鹿児島県立指宿高等学校 3年

「夢へのスタート」

呉屋愛恵

独立行政法人国立高等専門学校機構

沖縄工業高等専門学校 2年

「一歩ずつ、夢に向かって」

〈グループ部門〉

松岡 蒼、木村優花、新田莉彩、亀山琴音
岡本充恵、内田有希、藤原 涼、荒木亮人
阿部大成、村端祐哉、角畑 和
岡山県倉敷市立倉敷翔南高等学校 定時制 3年

「福祉を通して学んだこと」

中村浩暉、伊勢泰紀、中島優成、杉木新之介
富山県立富山中部高等学校 2年

「観光で北陸を変える」

学校賞

前回に引き続き全体的に継続的かつ積極的に取り組まれている学校。及び、新規挑戦された学校。

学校法人日通学園 流通経済大学付属柏高等学校 (千葉県)
広島県立広島国泰寺高等学校

福岡県立朝倉高等学校

福岡県立ありあけ新世高等学校

福岡県立香椎高等学校

福岡県立立香丘高等学校

福岡県立輝翔館中等教育学校

独立行政法人国立高等専門学校機構 北九州工業高等専門学校

福岡県立久留米高等学校

福岡県立新宮高等学校

福岡県立青豊高等学校

福岡県立筑紫丘高等学校

福岡県立伝習館高等学校

福岡県立福岡工業高等学校

福岡県立三池高等学校

福岡県立武蔵台高等学校

福岡県立宗像高等学校

福岡県立山門高等学校

福岡県立八女高等学校

福岡県立八女工業高等学校

学校法人岩田学園 岩田高等学校 (大分県)

熊本県立八代高等学校

鹿児島県立指宿高等学校

奨励賞

堂本 陸 北海道富川高等学校 3年

「恩返しと町おこし」

山田知奈 学校法人日通学園 流通経済大学付属柏高等学校 1年

「そばに寄り添うこと」

岡本 晋 東京都立大泉高等学校 3年

「報道の力で『差別』のない世界を」

坂井笙乃 国立大学法人お茶の水女子大学附属高等学校 2年

「救える命を増やしたい」

田中沙季 学校法人南山学園 聖霊高等学校 2年

「ALSの母をもつ私の使命」

長尾詩音 学校法人柳井学園 柳井学園高等学校 2年

「日々、成長していく」

西山龍馬 福岡県立宇美商業高等学校 2年

「将来の夢」

熊谷拓時 独立行政法人国立高等専門学校機構

「生物と工学の懸け橋に」

永里梨菜 福岡県立修猷館高等学校 2年

「空間」で人を救う

水田 就 福岡県立修猷館高等学校 2年

「僕の夢」

淵 龍成 学校法人上智学院 上智福岡中学高等学校 1年

「先人達の歩んだ道を歩くということ」

添田美純 福岡県立筑紫丘高等学校 1年

「書が私に与えてくれた自信」

西川実璃 福岡県立三池高等学校 2年

「あんた、誰？」

武藤彩花 福岡県立三池高等学校 1年

「託された思いを胸に」

日高宏紀 福岡県立宗像高等学校 1年

「人のために自分のために」

丹羽 縁 福岡県立明善高等学校 1年

「心をつないで」

西島菜純 長崎県立壱岐高等学校 2年

「後悔から見えたもの」

三井沙羅 長崎県立壱岐高等学校 2年

「教育改革を」

(敬称略・順不同)

受賞について

福岡県立大川樟風高等学校定時制

中釜 賢登 さん

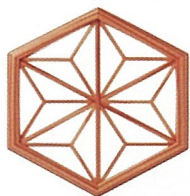
私は校内生活体験発表会に向け、作文を書きましたが、まさかその文章が日本一になるとは夢にも思いませんでした。数多くの作品が応募される中、審査員の方々から選んでいただき、大変嬉しく、胸が熱くなりました。

しかし、今回の受賞は自分一人の力では出来なかったと思っています。ご指導してくださった先生方に感謝しています。

また、今回作文を通して、自分の事を理解して下さる人がいるのだと感じ、今後の励みになりました。

作文のタイトルで書いたように、これからも諦めずに努力を重ね、福岡県立大川樟風高等学校の生徒であることを誇りに持って前進していきたいと思っています。

名誉ある冲永壮一博士記念大賞に選んでいただき、本当にありがとうございました。



広島県立広高等学校

校長 田中 清裕

「深い学びを求めて」

この度、「優秀学校賞」という栄誉ある賞をいただき生徒と共に指導教員・職員一同喜びに沸いています。誠にありがとうございます。

本校は文武両道で幅広い人間力をつける広高校の伝統に加えて、広島版「学びの変革」アクション・プランの活用コアスクールとして三年間、広島県の指定を受けて「学習者起点の学び」「主体的な学び」「深い学び」に取り組んでまいりました。この新しい学びはこれからの社会に適応し貢献し活躍する人材を育成することを目指しています。本コンクールのテーマである「今こそ大志を語れ」はまさに本校の生徒歌にある「おおいなる夢」に向かって、自ら主体的に学び、自らの考えを述べる力をつけ、社会に貢献する志を持ってグローバルに活躍することを願う思いに一致するものであります。改めて高校生小論文コンクールの関係者の皆様に感謝申し上げ、今回の受賞を励みに社会に有意な人材の育成に邁進していきたいと思っています。

筑紫女学園高等学校

校長 小柳 和孝

この度は「優秀学校賞」という栄誉を賜り、誠にありがとうございます。生徒・職員一同、たいへん光栄に存じております。

本校は、「自律・和平・感恩」の校訓のもと、グローバルリーダーとなる女性の育成を目指しています。そうした中で「今こそ大志を語れ」というテーマの本コンクールに高校二年生全員で取り組み、作品を応募させていただきました。小論文を書くにあたって、各生徒が自分の「大志」と向き合い、その実現に向けて何をすべきかを考える、非常に貴重な機会を得ることができたと思っています。「高校生」という今の夢や目標を確認し、それを自己実現への一歩とする取り組みとして、今後とも本コンクールへの応募を推奨して参りたいと考えています。また、「大志」を持ち、社会に貢献できる人材の育成に継続して取り組んで参る所存です。改めて、この度の受賞に感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

審査にあたって



帝京大学文部特任教授
都留文科大学元学長
審査委員長

今谷 明

このところ、応募者数はずっと1万人を超えておりますが、今回は特にグループ部門の応募が充実し、600人を超えるまでの多さとなりました。またこの部門の副題として、海外高校生との交流を含んで環境問題を論じた内容もあり、審査委員一同非常に注目を集め、印象深いものがありました。

また個人部門では、高校生諸君の自己志望を熱く語るのとは当然として、問題意識が鋭く、時代の最先端を見つめ論じているものも多く、感銘を禁じ得ませんでした。

私は今回で審査委員長を辞めさせていただきますが、この数年を振り返り感慨深いものがあります。引き受けた当時は、不慣れと負担の重さに途惑ったものですが、数年間審査をやらせて頂いて、若い人々の意気込みに触れ、また種々蒙(くらひ)を啓(ひら)かれたことも多く、今では感謝の思いで胸が一杯という状況です。来年は20周年を迎えるとの由ですが、今後このコンクールがますます発展し、盛況を迎えますことを、小生としても陰ながら念願している所存であります。

ジュニア美術展盛況の中終了

平成29年度第28回筑南ジュニア美術展表彰式

南筑後地区の園児・小・中学生までを対象とした筑南ジュニア美術展の作品展が10月15日より7日間開催された。応募総数6989点の作品より審査の結果254点の作品が入賞した。

10月15日午前10時半より表彰式が行われ各学校の入賞者を代表する子供達に賞状や副賞などが授与された。

また館内は連日家族づれの参観者が多く、作品の前では写真撮るなどほほえましい光景が見られた。



なお、作品は10月15日から21日まで会館内に展示した後、優秀作品は過去の作品も含めて会館内ホールに展示していますので参観ください。

(入賞者一覧は財団通信308号で既に発表しています)

公開講座

今年も帝京大学福岡医療技術学部の先生方より8講座を開いて頂きました。

受講者の方々のご意見から

- ・ 食生活や運動することの大切さを教えていただいた。
- ・ 講座に関心が高くなりもっと時間をかけて聞きたい。
- ・ どの講座も内容が豊富で講義はとても解り易かった。
- ・ 最新の情報を得ることができありがたかった。
- ・ 視野がせまく他人と比較している自分に気づいた。



学習クラブ講座案内

おもなクラブは、書道、表装、ちりめん布工芸等を実施しています。

10月には作品展展示会を行ないました。



第26回 大牟田地区学習クラブ手作り作品展

今年度も、帝京大学福岡キャンパスの帝京祭に協賛して10月21日のみ行われた。22日は台風のため閉館。

丹精した作品に来場者から感嘆の声がもれていた。



ゆめクラブ

毎週土曜日、英会話、美術教室を行っています。
ただ今、入会募集中!

※詳細は財団事務局へ

